

119 通報フロー

消防車要請

119

火事です

保育園の住所 佐倉市臼井田 2 3 7 9 番地

目印となるもの 臼井小学校の隣（近隣）です

保育園の電話番号 0 4 3 - 4 8 7 - 3 0 0 6

火災場所を知らせる

けが人、逃げ遅れの報告をする

逃げ遅れがいた場合は、その情報を伝える

こども数・職員数を聞かれる場合あり

救急車要請

119

救急車要請です。

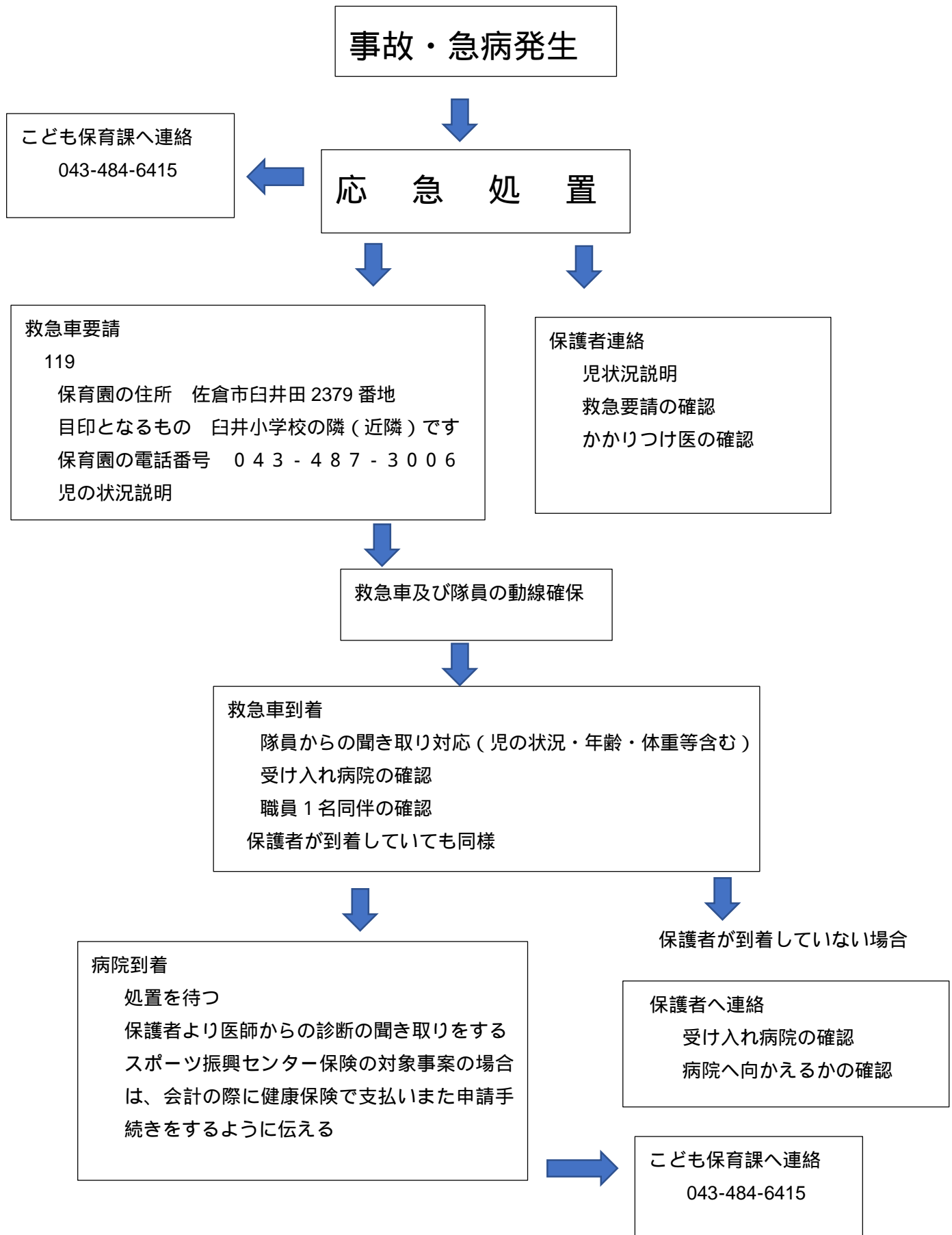
保育園の住所 佐倉市臼井田 2 3 7 9 番地

目印となるもの 臼井小学校の隣（近隣）です。

保育園の電話番号 0 4 3 - 4 8 7 - 3 0 0 6

子の状況説明をする「どこで」「誰が」「どのように」「意識があるか」等

救急時対応フロー



災害時フロー（火災）

火 災 発 生

「火事だ！」と大声で火災の発生を知らせる
内線電話等で事務室に火災の発生と火災状況を知らせる
事務室より園内放送で火災の発生場所と火災状況を知らせ、第一避難場所へ避難するよう誘導する（同時に火災報知器を非常起動する）
初期消火をする
119 に通報する
こども保育課 484-6415 へ連絡する

保育室

こどもを集める
人数確認をする
トイレの中等も確認をする
非常持ち出しリュック等を準備する
火災発生場所より避難経路を決定する
こどもたちを避難場所へ避難誘導する
避難場所で人数確認をする
隊長（園長もしくは副園長）にこども数及び職員数を報告する
1階及び2階の確認報告をする（逃げ遅れはないか）

給食室

火災発生場所の場合は、初期消火をする
同時に応援を呼ぶ
栄養士がリーダーとなり、調理員の人数を確認する
調理員を避難場所へ誘導する
避難場所で人数を確認する
隊長（園長もしくは副園長）に人数を報告する
こどもの避難が終了してない時には、避難誘導のヘルプをする

第1避難場所に避難完了

保護者へ災害伝言ダイヤル 171 で安全確認の電話を入れるまたマチコミも活用する
隊長（園長もしくは副園長）第2・第3避難場所へ避難するか決定する

消防車到着

隊長（園長もしくは副園長）は、消防隊員に状況を報告する
消防隊員の誘導に従う

災害時フロー（地震）

地震発生

事務室より園内放送で地震発生、身体を守るように伝える
園内放送で揺れがおさまったときに第1避難場所へ誘導する
火災が発生していないかの確認をする（火災発生の場合は、119へ通報する）

保育室

子どもたちへ身体を守るように誘導する
テーブル等身を隠すものがある場合は促す（併せてサルポーズを促す）
身を隠すものがない場合には、ダンゴムシのポーズ等を促す
3歳未満児クラスは、保育士が布団等で子どもの身体を守る
揺れがおさまったときに、部屋の中央に子どもを集めて人数確認をする
第1避難場所へ避難する
避難場所で子ども数及び職員数を確認する
隊長（園長もしくは副園長）に報告する

園庭及び園外保育（散歩）

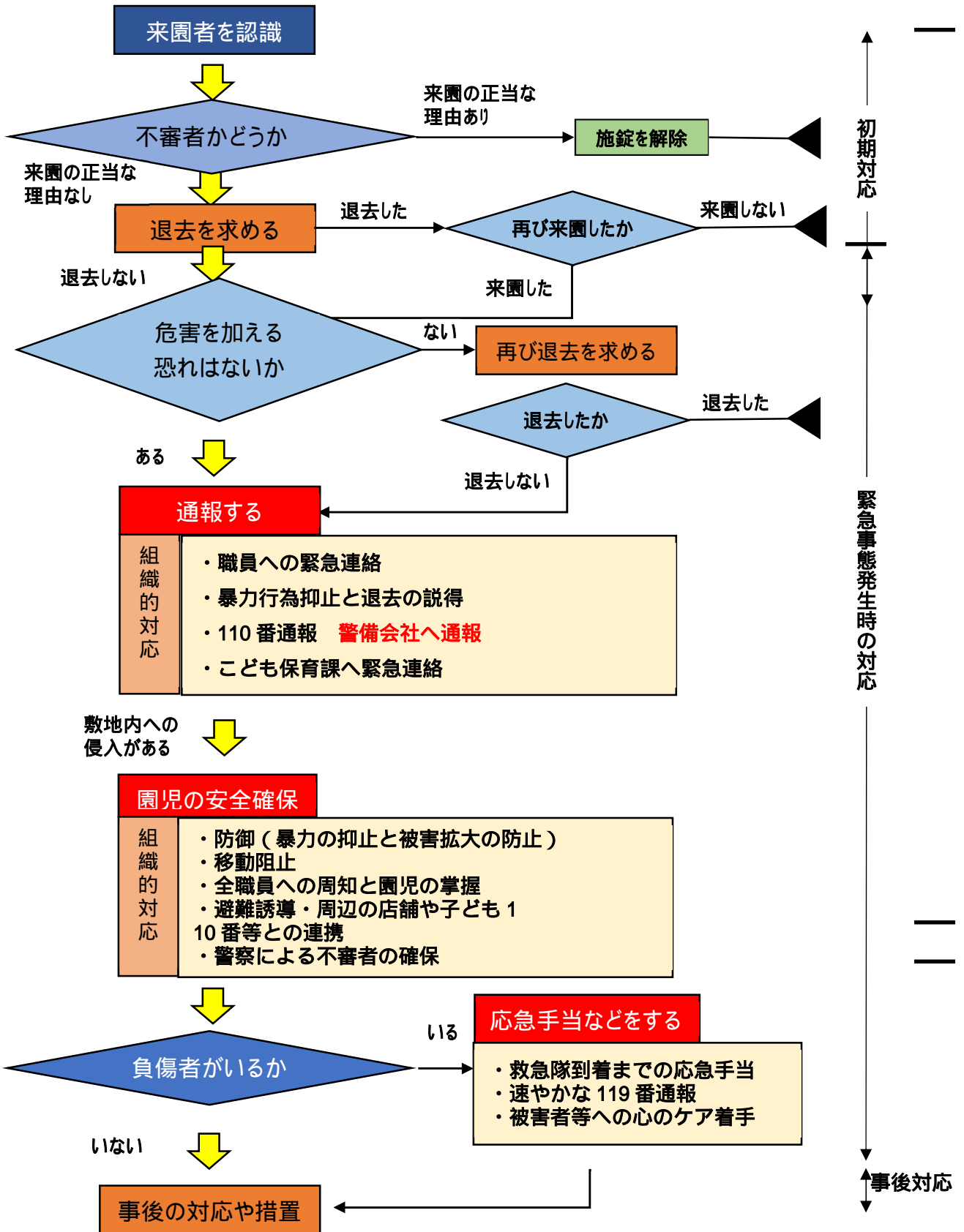
地震発生を感じたら、安全が確保される中央部分等に子どもを集める
子ども数及び職員数の確認をする
リーダー保育士に人数の報告をする
安全確認がとれるまで、その場で待機する
安全確認がとれた場合もしくはヘルプ職員が来た場合は、合流できるように避難する

給食室

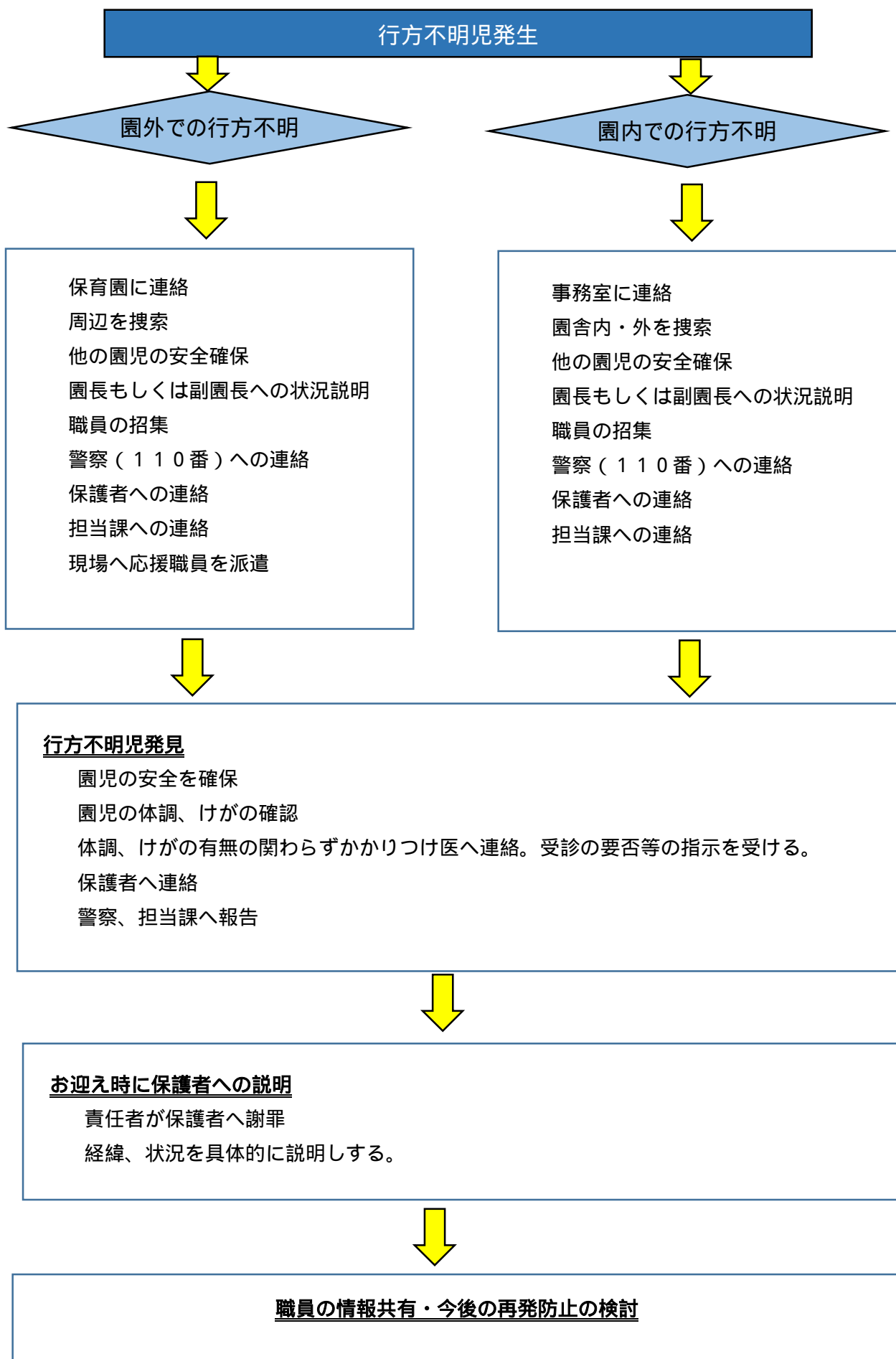
火災の確認をする
栄養士が調理員の人数確認をし、避難場所へ誘導する
避難場所で人数確認をし、隊長に報告する
子どもの避難誘導をヘルプする

第1避難場所に避難完了
災害伝言ダイヤル 171にて、保護者へ安全確認の電話を入れる
パソコンもしくは園長携帯電話よりマチコミ発信をする（使用可能であれば）
隊長（園長もしくは副園長）第2・第3避難場所へ避難するか決定する
防災物品の持ち出しをする

保育園における不審者への緊急対応フロー



保育園における行方不明児発生の緊急対応



別表(5)

令和6年度 臼井保育園 防災教育及び訓練計画表

	災害想定 (発生場所)	避難場所 時間	ね ら い	訓 練 内 容	その他の訓練及び注意事項	消火訓練
4月	災害の啓蒙	各保育室 (9時45分)	・非常時の合図を知る。 ・災害時の避難方法、訓練の必要性を知る。	・火災、地震等、非常時にベルが鳴り放送が流れる事を知る。 ・非常時は遊びをやめ、保育士のそばに集まり、話を聞くことを約束する。	・消防計画や職員の分担の確認をする。 ・消火器、防災設備の位置確認	・園内消火器の位置確認 ・災害伝言 ダイヤルの体験
5月	地震【地震中度】	第1避難場所 (園庭) (9時45分)	・地震時の基本的避難方法を知る 〔地震が起きた場合の身を守る方法を知る〕	・放送にて地震である事を知り、保育士と一緒に安全な場所へ(机の下や保育者の周りに集まり延髄を保護し身を守るなど)避難する。 ・揺れが治まったら状況を確認後、第1避難所に上履きのまま誘導する。 ・避難時の合言葉「おかしも」の約束をする。	・子ども達への声掛け・誘導・安全確保する。 ・カーテンを閉め飛散防止をし、窓、戸、等開放し、避難経路を確保する。 ・火災防止の為、電化製品・電気・ガスの元栓などを消す。	・消火器・非常ベルの使い方や位置の確認(消火器持ち出し) ・災害伝言 ダイヤルの体験
6月	火災 【事務室台所】 *通報訓練	第2避難場所 (臼井小学校) (9時45分)	・火災時の避難方法を知る。 ・風向きにより煙に巻かれないよう避難する。 ・第2避難所への経路を知る。	・ベル、放送で火災を知り保育士の側に集まり、放送や保育士の指示に従い上履きのまま、慌てずに避難する。 ・人数確認後、第2避難所に避難する。 ・保育士の指示によりハンカチ等で口をふさぐ。 ・避難時の合言葉「おかしも」を確認する。 ・火災報知器の使い方・解除の方法の確認 ・消防署に連絡(通報訓練)をする。	・職員の通報訓練をする。【通報訓練】 ・園児の動揺をしずめ、園庭に避難する。 ・火災時は、窓や出入口を閉めるが鍵はかけない。 ・人数確認を速やかにおこない、第2避難所へ避難する準備をする。 ・残留園児の確認をする。 ・出火場所により、避難の場所が違うことを知らせる。 ・2次災害に気を付ける。	・消防署への通報 ・ホース、バケツリレーによる消火 ・災害伝言 ダイヤルの体験
	不審者侵入	各保育室 (10時40分)	・園内に不審者が侵入した際、身を守る避難方法を知る。	・放送を聞き指示に従い、室内での避難体制をとる。 各保育室で鍵をしめ安全確保のため待機する(身を守る大切さを知る)	・各保育室の目隠しカーテン、鍵や避難場所の確認 ・事務室の職員は不審者に冷静に対応するよう心がける。(応援体制を整える。) ・子どもにつく職員、不審者対応職員など役割確認をしておく。 ・笛や防犯ベルは、すぐに使えるよう常に常備しておく。	
7月	地震 【中度】	第1避難所 (園庭) 16:45	・担任以外の職員の指示にも従って行動できるようにする。 ・地震時の基本的避難方法を知る。	・放送にて地震である事を知り、担任や担任以外の職員の指示により、落ち着いて避難行動をとる。 ・揺れがおさまってから、上靴のまま園庭に避難する。	・職員間で協力し避難経路を確保する。 ・園舎内の安全な場所に避難をする。 ・地震時の避難経路、職員配置の確認をする。 ・カーテンを閉め、ガラスの飛散防止をする。 ・出火防止措置・電気・冷房などの電化製品消す。	・消火器の点検 ・災害伝言 ダイヤルの体験 ・水消火器訓練
8月	火災【近隣】	遊戯室 14:45	・午睡中でも目をさまし、保育士の誘導により避難する。	・休憩中の保育士は、ただちに午睡場所へ行く。 ・放送や保育士からの声かけで近隣火災を知る。 ・午睡中ではあるが目を覚まし、保育士の側に集まる。 ・次の指示まで帽子をかぶり落ち着いて待てるように話す。	・呼吸器の弱い子などを把握しておく。 ・近隣の火災場所の確認をする。 (危機管理室、消防署へ問い合わせる) ・火災場所、黒煙状況、風向きに応じて、待機場所や避難場所を判断する。	・消火器の点検 ・災害伝言 ダイヤルの体験
9月	防災訓練 【風水害】	遊戯室 (16時)	・ニュース、情報を見たり、聞いたりすることの大切さを知る。 ・互いに助け合う心を養う。	・防災の日にちなみ、台風や集中豪雨、雷等の話を聞き停電、停電や断水についても知らせる。 ・直ぐに帰れる支度をして保護者が迎えに来るまで、安心して待てるようにする。	・自主点検を念入りにする。 ・備蓄品の確認(非常時の品の置き場・利用法の再確認) ・保護者への引き渡し方法や待機場所の確認をする。	・消火器の確認 ・災害伝言 ダイヤルの体験
10月	火災【調乳室】	第1避難所 (園庭) (17時30分)	・担任以外の職員の指示にも従って行動できるようにする。 ・薄暗い中でも安全に避難できるようにする。 ・火災時の基本的避難方法を知る。	・ベル、放送で火災を知り、出火場所の確認をおこない、保育士の指示に従い上履きのまま、慌てずに避難する。 ・保育士の指示によりハンカチ等で口をふさぐ。 ・避難時の合言葉「おかしも」を確認する。 ・火災報知器の使い方・解除の方法の確認	・延長保育職員と当番職員の協力体制の確認。(指揮は当番職員) ・呼吸器の弱い子などの把握をする。 ・火災時は、窓や出入口を閉めるが鍵はかけない。 ・出火場所を確認し、避難経路を確認。 ・残留園児の確認	・消火器の持ち出し ・災害伝言 ダイヤルの体験
11月	総合避難訓練 火災【給食】 *通報訓練	第1避難場所 (園庭) (10時)	・総合訓練を実施し、消防署の指導を受ける 【通報・避難・消火訓練】	・園児の避難訓練、職員の通報、消火訓練をおこなう。 ・消防署員の指導・評価を受ける。 ・火災の恐ろしさを知り防火教育を行う。 (DVD)	・消防署への通報、消火器での消火訓練。 「早く知らせる」「早く消す」「早く逃げる」の再確認をする。	・消防署員指導による消火訓練 ・災害伝言 ダイヤルの体験

12月	地震【地震中度】	第1避難場所 (園庭) (10時15分)	戸外遊び中での避難の仕方・身の守り方を知る。	<ul style="list-style-type: none"> 放送にて地震である事を知り、周囲の確認をし、安全な場所に(倒れてくる物や落ちてくる物がないか)集め延髄を保護し身を守る(ダンゴムシのポーズ)。 遊具には保育士が付き添い、慌てて怪我などをしないよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達への声掛け、誘導・安全を確保する。(危険な場所や予想された場合は、職員間で声を掛け合い集まる場所を考えていく) 園庭での安全な場所や危険な場所がないか等を再度確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 消火器点検 災害伝言ダイヤルの体験
1月	火災 (給食室)	第2避難場所 (臼井小学校) (10時00分)	<ul style="list-style-type: none"> 火災時の基本的避難方法を再確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育士の指示により腰を低くしてハンカチ、腕で口を覆う。 風向きを考え、園庭内での避難、待機場所を決める。 	<ul style="list-style-type: none"> 呼吸器疾患のある園児の把握。 残留園児がないことを確認する。 火災時は、窓や出入口を閉めるが鍵はかけない。 重要書類の運搬訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 消火器点検 非常ベルの使い方や位置の確認 災害伝言ダイヤルの体験
	不審者侵入	室内の安全な場所 園庭から園舎	<ul style="list-style-type: none"> 不審者侵入に対して身を守る避難方法を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 園庭で遊んでいる際不審者出現。放送が出来ない際は、笛や合言葉で職員に知らせ合い、園児を園舎へ誘導避難する。 慌てずに園舎内に避難できるよう誘導し、安全な場所を確保し、施設する。 	<ul style="list-style-type: none"> 放送や笛や防犯ベルなどがすぐに使用できるように常に常備しておく。 入室後、カーテンを閉め、鍵をかけバリケードなどをし、身を守る。 点呼・人数確認を速やかにおこなう。 事務室職員は、すぐに対応できるよう、傘、消火器、さすまた等の位置を把握しておく。 不審者に冷静に対応するように心がける。 	
2月	火災【漏電】 2階の中倉庫	遊戯室 (11時00分)	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな火災のあることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ベルの音で避難する。 漏電等の話をし、危険な遊びやいたずらをしないように約束をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 昼食準備などを行っている時間帯なので、園児の動揺をせずめ、避難する。(職員配置を確認する) 電気器具類の安全確認。 	<ul style="list-style-type: none"> 消火器の点検 災害伝言ダイヤルの体験
3月	地震【地震中度】	第1避難場所 (園庭) (14時45分)	<ul style="list-style-type: none"> 午睡中でも目を覚まし、保育士の誘導により避難する。 地震時の素早い行動を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 布団などで落下物から身を守る。 お喋りをせず、騒がず、保育士の指示に従い、素早く園庭に避難する。 建物の落下から身を守る。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育園の安全な避難場所を再確認する。 食料、飲料水確保の確認。 落下物の確認・備蓄米の確保。 地震時の避難経路・職員配置の再確認をする 	<ul style="list-style-type: none"> 消火器の点検 災害伝言ダイヤルの体験